



あっぱれ!

# 親方・匠

今回は、令和元年度に匠に認証された、渋谷区立長谷戸小学校をお訪ねしました。

渋谷区立長谷戸小学校  
児童数：197名  
(令和2年5月1日現在)  
芝生化面積：2,014m<sup>2</sup>

写真左から

校長 佐藤 公信  
匠 種村 明宏  
親方 並木 宏道  
副校長 望月 伸司

## ●先生を支え、児童を応援したい熱い思い

平成28年(2016年)9月に校庭全面2,000m<sup>2</sup>超が芝生になりました。計画当初からPTA、地域の方は「先生に負担は掛けない。先生は授業に専念してほしい」、「長谷戸小学校と児童を応援したい」という思いで結束しており、現在PTA50名(任意参加)、地域の方8名、地域の体育委員等、合計約60名で芝生を維持管理しています。芝生化以前、約120名だった児童数は現在約200名です。



## ●児童の教育環境向上に地域が参加

休み時間、校庭芝生で児童はリラックスしたり、思いっきり体を動かしたり、とても気持ち良さそうです。教室に戻るときはスッキリした表情で、芝で浄化されストレスが落ちたようです。児童も先生も授業に専念できます。

地域の方は第一線で活躍中ですが、芝生の維持管理を喜んで支えています。親方の並木宏道さんは、「芝生の世話は奥深く楽しい」と笑顔で語ります。また児童が苗を育て補植する「芝育」効果に注目しています。芝生をいたわり「今日は別の場所で遊ぼうよ」と話しているそうです。匠の種村明宏さんは、専門家から学びながらも試行錯誤でした。「芝生の状態は毎年違います。悩みつつ成長を助け見守るのは子供を育てるのと同じです。大人がちょっと努力すれば子供に最高の環境を提供できます。」

## ●校庭芝生の有効活用拡大を目指して

校長・副校長先生は、校庭芝生をどのように維持管理しているか児童、保護者に伝えることと、児童が間近で芝生の世話を見る機会を増やすことを考えています。

親方、匠は芝生でのイベント開催と参加促進を挙げています。校庭芝生の良さを体験すれば、子供の環境、地域資産の観点で芝生を見てもらえます。大好評イベントの「大水鉄砲大会」、「バーベキュー大会」、「焼き芋大会」に加え、「芝生の上で汗をかいてみませんか」、「芝刈り健康法」、「青空昼寝大会」など参加したくなる企画を検討中です。

